

事務事業名		安全管理事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業	
政策体系	政策名	05 やすらぎある安全なまちづくりの推進		事業期間	
	施策名	22 防災対策の推進		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成17 年度～)	
	基本事業名	05 消防体制の充実		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
根拠法令				予算科目 会計 款 項 目 事業 01 09 01 02 02 事務事業区分 A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)	
所属	部課名	大船渡地区消防組合 大船渡消防署			
	課長名	大久保守正			
	係名	警防係	電話	27-2119	
	担当者	中平光	内線	433	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)	
現在社会問題となっている肺癌やガンの一種である胸膜・腹膜等の中皮腫は石綿粉じんを吸入したことが主な原因と考えられています。そのため消防活動時の消防団員の安全確保を図るため分団各部に消防のための装備品を配布する事業です。主な業務は必要装備品の検討、見積依頼、契約、納品、装備品及び取扱い説明資料の配付で、事業費は装備品の購入費として支出される。 なお、マスクは各分団へ予定数配布完了となったことから、今年度から使用期限10年を過ぎたフィルターの更新配備を実施する。				総投入量(千円) 事業内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
前年度実績(前年度に行った主な活動) 石綿防塵マスクを42個購入配備した。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 装備品配布個数</td> <td>個</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 装備品配布個数	個	イ		ウ	
名称	単位								
ア 装備品配布個数	個								
イ									
ウ									
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 使用期限10年を過ぎたフィルターの更新配備を実施する。 (平成17年に配備したマスク180個、うち震災により流出した66個を除く114個のフィルターを更新配備)									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)								
大船渡市消防団員	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カ 大船渡市消防団員</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	カ 大船渡市消防団員	人	キ		ク	
名称	単位								
カ 大船渡市消防団員	人								
キ									
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)								
各種災害時の消防団員の安全を確保した活動ができる。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サ 大船渡市消防団</td> <td>個</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	サ 大船渡市消防団	個	シ		ス	
名称	単位								
サ 大船渡市消防団	個								
シ									
ス									
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)									
災害時及び出火時に安全的確な消防活動ができる。									

(2) 総事業費・指標等の推移																																																																																																																																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">投入量</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="6">年度</th> </tr> <tr> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(目標)</th> <th>30年度(目標)</th> <th>31年度(目標)</th> <th>32年度(目標)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>250</td> <td>255</td> <td>114</td> <td>60</td> <td>60</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>250</td> <td>255</td> <td>114</td> <td>60</td> <td>60</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td>人</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td>720</td> <td>720</td> <td>720</td> <td>720</td> <td>720</td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>2,880</td> <td>2,880</td> <td>2,880</td> <td>2,880</td> <td>2,880</td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>3,130</td> <td>3,135</td> <td>2,994</td> <td>2,940</td> <td>2,940</td> <td>2,940</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑤ 活動指標</td> <td>ア</td> <td>個</td> <td>42</td> <td>42</td> <td>114</td> <td>60</td> <td>60</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑥ 対象指標</td> <td>カ</td> <td>人</td> <td>950</td> <td>927</td> <td>921</td> <td>921</td> <td>921</td> <td>921</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑦ 成果指標</td> <td>サ</td> <td>個</td> <td>42</td> <td>42</td> <td>114</td> <td>60</td> <td>60</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		投入量	単位	年度						27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)	事業費	国庫支出金	千円						都道府県支出金	千円						地方債	千円						その他	千円						一般財源	千円	250	255	114	60	60	60	事業費計(A)	千円	250	255	114	60	60	60	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	延べ業務時間	時間	720	720	720	720	720	人件費計(B)	千円	2,880	2,880	2,880	2,880	2,880	トータルコスト(A)+(B)	千円	3,130	3,135	2,994	2,940	2,940	2,940	⑤ 活動指標	ア	個	42	42	114	60	60	60	イ							ウ							⑥ 対象指標	カ	人	950	927	921	921	921	921	キ							ク							⑦ 成果指標	サ	個	42	42	114	60	60	60	シ							ス						
投入量	単位			年度																																																																																																																																																											
		27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)																																																																																																																																																								
事業費	国庫支出金	千円																																																																																																																																																													
	都道府県支出金	千円																																																																																																																																																													
	地方債	千円																																																																																																																																																													
	その他	千円																																																																																																																																																													
	一般財源	千円	250	255	114	60	60	60																																																																																																																																																							
事業費計(A)	千円	250	255	114	60	60	60																																																																																																																																																								
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1																																																																																																																																																								
	延べ業務時間	時間	720	720	720	720	720																																																																																																																																																								
	人件費計(B)	千円	2,880	2,880	2,880	2,880	2,880																																																																																																																																																								
	トータルコスト(A)+(B)	千円	3,130	3,135	2,994	2,940	2,940	2,940																																																																																																																																																							
⑤ 活動指標	ア	個	42	42	114	60	60	60																																																																																																																																																							
	イ																																																																																																																																																														
	ウ																																																																																																																																																														
⑥ 対象指標	カ	人	950	927	921	921	921	921																																																																																																																																																							
	キ																																																																																																																																																														
	ク																																																																																																																																																														
⑦ 成果指標	サ	個	42	42	114	60	60	60																																																																																																																																																							
	シ																																																																																																																																																														
	ス																																																																																																																																																														

事務事業ID	1093	事務事業名	安全管理事業
--------	------	-------	--------

**(3) 事務事業の環境変化・住民意見等**

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？  
平成17年8月岩手県総務部総合防災室から、消防隊員が災害現場において石綿に対する安全対策をとるよう通知された。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？  
厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署では、石綿障害予防規則を制定し平成17年7月1日に施行している。  
この規則では石綿を使用している建物等の解体作業等に従事する作業員のばく露防止が義務付けられる等、石綿による健康被害がいかに深刻なものか理解できます。このことから火災現場等で活動する消防団員の石綿粉じんによる健康被害防止のため、よりいっそうの装備の充実を図らなければなりません。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？  
平成17年事業開始から購入配備を進めてきたが、古いものは経年劣化が進んでいる物もあり、更新の要望がされている。(当面、団車両1台あたり10個配備とし、今後も順次フィルターの更新が必要。)

**2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	安全管理事業であり、消防団員の安全確保につながることで的確な災害対応ができる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	市町村は当該市町村の区域における消防を十分に果たすべき責任を有することから公共関与は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	大船渡市消防団員が対象であることから適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	計画どおりの成果を上げており、これ以上の向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	消防活動に携わる消防団員の石綿による健康被害が懸念される。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	石綿防塵マスクの中でも廉価なものを選定し支給しているためこれ以上削減できない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	市の予算執行のための正職員1名が担当しており、配布は各分団部で受領しており、これ以上の削減の余地がない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	消防活動で使用するものであり、その費用の負担は公費によるものが適切である。

**3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)**

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																			
<p>① 現状維持</p> <p>② 改革改善(縮小・統合含む)</p> <p>③ 終了・廃止・休止</p>	<p>左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		コスト			削減	維持	増加	向上				維持		●	×	低下		×	×
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上																				
維持		●	×																	
低下		×	×																	
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 引き続きハード面(マスク・フィルター)の整備を継続し、災害に対応する消防団員の健康被害防止を図っていく。																				

**4 課長等意見**

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
<p>① 現状維持</p> <p>② 改革改善(縮小・統合含む)</p> <p>③ 終了・廃止・休止</p>	<p>消防団員の健康被害軽減のため、劣化したマスクの更新、使用期限の切れたフィルターの更新を計画的に実施していく。</p>